

度会町ふるさと歴史館だより

令和8年10月（秋号）

いいのができたよ！ 土器づくり・まが玉づくり

夏休み歴史館体験イベント

8月9日、久しぶりの開催となった土器作り体験は午前と午後の二回に分けて開催、体験室は活気にあふれました。

参加してくれた子供たちは、講師の伊勢阿吽窯のあうんがま薮谷尚子さんに教わり、お父さんお母さんらの助けも借りながら、カップや皿など思い思いの作品を作りました。

できあがった作品はどれもすばらしい出来栄で、リアルな土偶や縄文マグカップなどもあり、歴史館職員もビックリ！

親子で楽しめるこの体験イベント、来年もぜひ開催したいと考えています。おたのしみに！



講師の薮谷先生



みなさんとても熱心に参加してくださいました



焼き上がった作品（一部）よい出来上がりでした



リアルな土偶も！

つくれたよ！ うまくてきたよ！ 自分だけのまが玉だよ！！



7月23・26・8月6日の三日間、午前と午後に開催しました。

毎年行われているイベントですが、何度も参加してくれる子供たちもいて、去年とはちがう形のまが玉をつくるなどして、熱心に取り組んでくれました。

ふるさと歴史館は

学術研究や大学生の学びにも役立っています

縄文時代の赤色顔料として珍重された「朱」は、原料となる辰砂鉱石の産出地が限られています。そこで、遺跡から出土する朱の付着した土器などの遺物を科学分析することで、その生産地をつきとめようとする全国展開の研究が国の研究費を使って進められています。

その一環で6月14日、森添遺跡の朱関連遺物からサンプルを採取する作業が、奈良県立医大の南武志先生らによって歴史館でおこなわれました。

将来、森添遺跡でつくられた朱がどのような地域にまで運ばれていたかなど、具体的な交易の様子まで分かってくることが期待されます。

また、8月23日と9月3日には南山大学人類文化学科（名古屋市）の学生さん2名が、上ノ垣外遺跡（葛原）出土品調査のため来館し、熱心に調査を進めました。調査の成果は名古屋市内で行われる研究会で発表される予定です。



資料調査を進める南山大学の学生さん

空からこんにちは ⑧ 棚橋 ～ふるさと空中散歩～



宮川第二の支流一之瀬川と宮川本流との合流点近くに立地。

県指定民俗文化財の御頭神事は厳冬の2月上旬に行われ、中世以来の伝統を受け継ぎ、地域を一つにまとめます。

左から一之瀬川が宮川に合流、右中央は度会中学校。

かつて一帯に広がっていた茶畑は、周辺の宅地化にともない次第に姿を消しつつあります。

わたらいちょう

度会町ふるさと歴史館（三重県度会郡度会町中之郷1025 旧小川郷小学校内）



開館日 毎週木曜日（第5木曜日は休館）と第2・第4日曜日（開館時間 9時～16時）

お問い合わせ・連絡先

〒516-2195 三重県度会郡度会町棚橋1215-1 度会町教育委員会

TEL.0596-62-2422 FAX.0596-62-1647 kyoit@town.watarai.lg.jp